

トライアル

〒591 大阪府大阪市堺市八下町4-102-9 ☎0722-54-7039



ハイカムを始めエンジンにはひとことお入りが入っている。しかしポアアップは若干に留めて耐久性を重視、さらに低中速トルクを狙ってシングルタービン(1H1C)化している。あまり大きくないタービンなので、トップエンドのパワーがないのではと懸念してしまうが余計な心配だ。ブースト1・35kg/cm²時では450馬力を発揮、235/45ZR17のアドバン・ネクススでもまるで役不足に終わる。さらに足まわりも、牧原社長自らが開発したものがセットされ、どこで走っても無敵であるよう目指されている。またブレーキローターやキャリパーもブレンボに交換され、トータルバランスの優れたクルマ造りという気持ちを受け取られるものだ。

とどろかへ全部車検対応のUSVU

トライアルGT-Rの特徴はチューンド箇所がすべてが公認済であること。トライアルの社用車として、普段みんなの足として街乗りに使われているものなのだ。このクルマの開発コンセプトはオールラウンダー。「街乗りからゼロヨン、最高速、ワインディング、そしてサーキットまで、すべてのフィールドをこれ一台でこなせることを目指したんです」とは牧原社長。さらにそれを合法的に可能にしようというものだ。



車内ではCPUのROMをすぐ変えられるようにしているのが分かる。トライアルCPUはノーマル下取りで13万7000円。しかしこのクルマの最大の特徴はボンネットを開けて真っ先に目に飛び込んでくるIHI C-7タービンだろう。エンジン自体も2657cc(ポア:87.5xストローク:73.7)にポアアップ、さらにハイカム(IN264*EX264)を組み合わせている。走るのが大好きな牧原社長が開発した足まわりも注目。トライアルダンパーセットは19万8000円。さらに止まることも忘れていない。キャリパー、ローター、パッドはすべてブレンボ製。さらにブレーキホースもステンレスのアルズ製に交換されている。タイヤサイズも含めてすべて公認仕様。

Impression

ターボをシングル化しているために、5000回転以下はトルクはさほど太くない。実質的なリミットも7500回転までだ。ただしパワーバンドをキープしてさえいればトルクは驚くほど強力。なかなか刺激的に加速する。

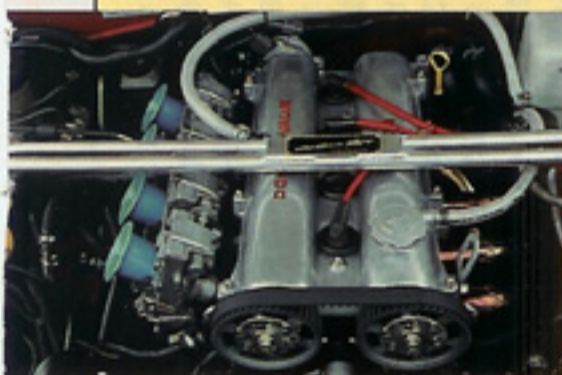
操縦性もエンジン同様、かなりジャジャ馬的な仕上がりで、これが本当にGT-Rかと思うくらいにオーバーステア傾向だった。聞くとN-1スリック用のセッティングで、今回の急な試乗のために、急換タイヤのみを交換してきたのだという。そんなクルマだからタイムは期待できない。振り回して遊ぶには、理屈抜きに面白かった。(木下隆之)



中低速トルクを狙ってのシングルタービン化だが、「いまいちトルクが出ていない」と自分のクルマにもキビシイ評価を下すトライアル代表マツキ牧原。

ピットクルーレーシング

〒513 三重県鈴鹿市道伯2-10-5 ☎0593-78-7444



目に飛び込んでくるのがバグカスタムのCRキャブ。タコ足はHKSスーパーヘッダーで、ピストンは81VTEC用を加工している。これに272度のハイカムを入れ、おまけにウィズのクロスミッションまでドッキング。内装もオリジナルのカーボンパーツでパッチリ決めている。

Impression

全体的にトルク感が高まっている。操縦性も、ノーマルの良さを残しながら、うまくまとめている感じだ。

走りに関して言えば、特に問題もなく、意外にもフラットな印象だった。(木下隆之)



オリジナルのデュアルセンターマフラー(8万5000円)。オリジナルマフラーだけで4タイプもラインアップさせるという、徹底したこだわりようだ。



この外観もなかなかやってくれるのである。

これ、バリバリのサーキット仕様ですわ

これは過激やで。それ、おもしろいよ。ピットクルーの上國社長が太鼓版を押すこのロードスターは、いわば極めつけサーキットバージョン。とにかく徹底してやってくれという熱血オーナーのオーダーを受け、日常の使いやすさはほとんど無視、超割り切りのものに造られたクルマなのだ。1722ccへのポアアップ、ハイカム、CRキャブ、各部バランス取りetc...エンジン部にはもう徹底して手が加えられている。足まわりには、N1カー用の車高調キットを移植。F13kg/mm、R11kg/mmという高レトだ。これにF185/60、R195/55の14インチRE710を履く。なにしろ、ピットクルーはデモカーだけで3台もあるという、超ユーノスフリークのシヨップ。雰囲気派から過激派まで、ロードスターなら何でも来い!なのだ。で、結論。このクルマは、めっちゃくちゃ速かった。

三重の名物男・上國社長。ユーノスに惚れ込んで全く性格の違うデモカーを3台も揃えてしまうという、高売を考えない人(?)。目下もっとスゴイのを製作中。

